

3 操作装置

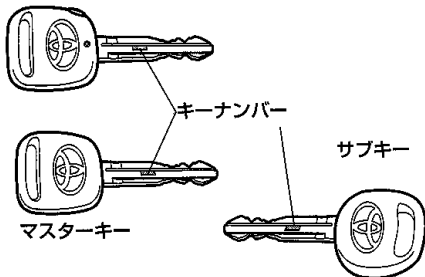
- 各部の開閉 **58**
- 各部の調整 **70**
- メーター、表示灯、警告灯の見方 **74**
- 視界の確保 **82**
- 運転装置 **88**

各部の開閉

キー

- キーはドアの施錠・解錠のほか、エンジンの始動・停止に使います。
- マスターキーが2本とサブキーが1本あります。

マスターキー



- キーナンバーをひかえておくてください。万一紛失した場合、キーナンバーからトヨタ販売店で純正のキーを作ることができます。

知識

サブキーではグローブボックスを施錠・解錠することはできません。

ドア

フロントドアとリヤドア

■キーを使っでの施錠と解錠 (フロントドア)

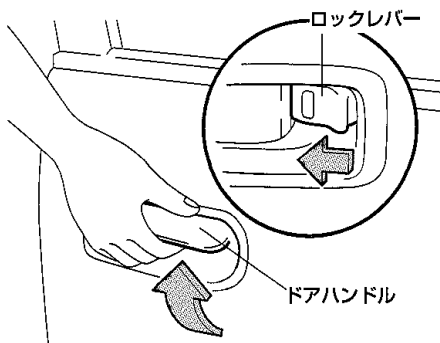
キーを前にまわすと施錠、うしろにまわすと解錠されます。

■ロックレバーでの施錠と解錠

- ロックレバーを前方に押し込むと施錠し、後方に引き出すと解錠されます。
- 運転席ドアはロックレバーが施錠側に押し込まれていても車内のドアレバーを引くとドアが開きます。

■キーを使わずに施錠するには

- フロントドアはロックレバーを施錠側にして、ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。エンジンスイッチにキーが差し込まれていると施錠できません。
- リヤドアはロックレバーを施錠側にして、ドアを閉めます。



⚠ 注意

走行する前に全てのドアが確実に閉まっていることを確認してください。ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め施錠することが法的に義務づけられています。また、施錠していても車内に貴重品などを置かないようにしましょう。

キー抜き忘れ防止チャイム

エンジンスイッチがLOCKまたはACCの位置のとき運転席ドアを開けると、キーの抜き忘れを警告するチャイムが鳴ります。

🎓 知識

キーの閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

エンジンキー照明

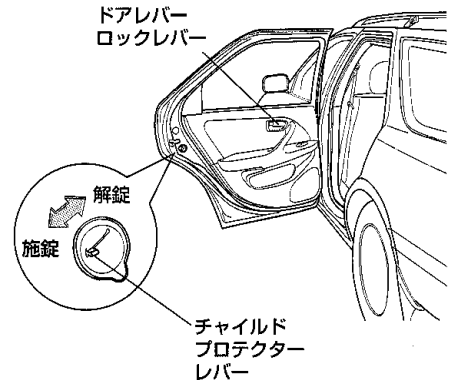
キーによる解錠、およびドアの開閉と連動して、エンジンキー照明・室内灯（スイッチがDOORの位置のとき）が点灯・消灯します。

- ドアを開けると点灯し、閉じると約15秒後に消灯します。
- キーでドアを解錠すると約15秒間点灯し、施錠すると消灯します。

詳しい作動条件は124ページの「イルミネーテッドエントリーシステム」を参照してください。

チャイルドプロテクター

チャイルドプロテクターレバーを施錠側にしてドアを閉じると、ロックレバーの位置に関係なく、車内のドアレバーではリヤドアを開けることはできません。お子さまを乗せるときにご使用ください。



■チャイルドプロテクターがはたらいているときのドアの開け方

ロックレバーを解錠状態にして、車外からドアハンドルを引くとドアは開きません。

■万一のときの車内からの開け方

窓ガラスを下げ、ロックレバーが施錠されている場合はロックレバーを解錠状態にして、手を外に出してドアハンドルを引くと開きます。

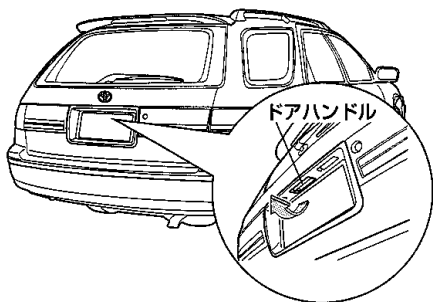
バックドア

■施錠と解錠

キーをキーシリンダーに差し込み左に回すと解錠、右に回すと施錠されます。

■開けるときは

ドアハンドルを引いてバックドアを持ち上げると開きます。



- バックドアを開けるときは、最上部まで持ち上げてください。
- バックドアが自然に降下しないことを確認してください。

■閉めるときは

- 1 バックドアを降ろします。
- 2 下端を押さえつけロックします。

⚠ 注意

- バックドアを開けたまま走行しないでください。バックドアが車外の物などに当たり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアを閉じるときは、他の人の手などをはさまないように注意してください。
- バックドアを閉じた後はバックドアを軽くゆさぶり確実にロックされていることを確認してください。万一、走行中にバックドアが開くと、荷物が落ちるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- バックドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。
- ビニール片、ステッカー、粘着材などの異物がステーのロッド部（メッキしてある棒部）に付着しないようにしてください。付着するとステーが円滑に動かなくなったり、開けたとき保持力が損なわれるおそれがあります。
 - バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品を取りつけないでください。バックドアの重量が極端に重くなると開けたときにステーが支えきれなくなるおそれがあります。

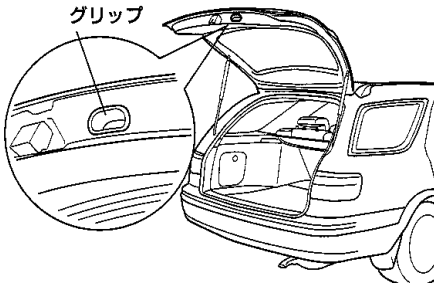


知識

斜傾した場所では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくかったり、急に開閉してしまう場合があります。

■バックドアグリップ

バックドアを降ろすときに便利です。



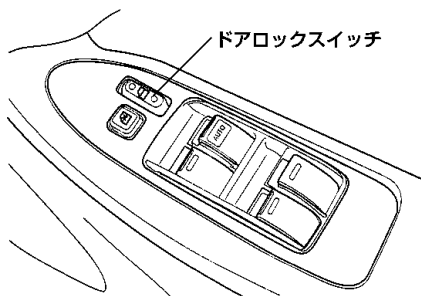
⚠ 注意

バックドアグリップで直接バックドアを閉めないでください。手や腕をはさみ、けがをするおそれがあります。バックドアは、必ず外から押して閉めてください。

電気式ドアロック

すべてのドアの施錠・解錠が運転席で同時にできます。

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。



■ ドアロックスイッチを使っでの施錠と解錠

スイッチの前側を押すと施錠、うしろ側を押すと解錠されます。

■ 知識

スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し、押しなおしてください。

■ キーを使っでの施錠と解錠

運転席ドアにキーを差し込んでキーを前側にまわすと施錠、うしろにまわすと解錠されます。

● すべてのドアの施錠・解錠ができます。

■ 車速感応オートドアロック

車速が約20Km/h以上になると自動的に施錠されます。

■ 知識

車速感応オートドアロック機能を解除することもできます。トヨタ販売店にご相談ください。

■ キー閉じ込み防止機能

エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを電気式ドアロックスイッチやロックレバーにより、施錠しようとしても施錠できません。

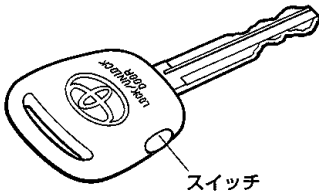
■ 衝撃感知ドアロック解除システム

車両が前後左右から強い衝撃を受けると自動的に全ドアのロックが解除されます。

ワイヤレスドアロック

電波により、車から離れたところ(約1m)から全ドア(バックドアを含む)の施錠・解錠ができます。

■リモコンスイッチ



知識

リモコンスイッチは、周囲の状況により作動可能距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車へ約1mまで近づいて操作してください。

ドアの施錠・解錠

リモコンのスイッチを押すごとに施錠・解錠されます。

- リモコンスイッチは、ゆっくりと確実に押してください。
- リモコンスイッチを押し続けても、ドアの施錠・解錠は繰り返されません。スイッチを押しなおしてください。
- リモコンスイッチでドアを解錠すると、エンジンキー照明・室内灯(DOORの位置のとき)が約15秒間点灯します。また、施錠すると消灯します。

知識

- エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき、またはいずれかのドアが開いているときは作動しません。
- スイッチを押して解錠操作をしたあと、約30秒以内にドアを開けなかったときは、自動的に施錠されます。
- スイッチを押して施錠操作したときは、必ず施錠作動したことを確認してください。

アドバイス

- リモコンスイッチを押しても作動しない場合、または著しく作動可能距離が短くなった場合、電池の消耗が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- リモコンスイッチは電子部品です。故障の原因となりますので、以下のことをお守りください。
 - ダッシュボードの上など、高温になる所に放置しないでください。
 - 分解しないでください。
 - 落としたり、強い衝撃をあてえないでください。
 - 水にぬらさないでください。
- リヤウインドウガラスに次の物を貼りつけると、車両後方からリモコンスイッチの操作をした場合、受信器への電波がさえぎられて受信感度が低下し、作動可能距離が短くなるおそれがあります。
 - 金属を含有するウインドウフィルム
 - その他の金属物
(トヨタ純正品以外のアンテナなど)
- リモコンスイッチを紛失したときは、盗難・事故などを防ぐため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

知識

リモコンスイッチは、同じ車両で最大4個まで使用することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

パワーウィンドウ

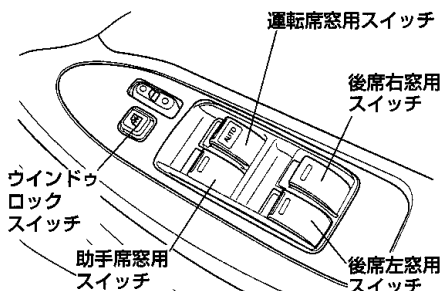
⚠ 警告

窓ガラスを閉じるときは、他の人の手や頭などをはさまないように注意してください。窓ガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

運転席スイッチ

スイッチ操作で窓ガラスの開閉ができます。エンジンスイッチがONのとき使用できます。

運転席スイッチですべてのドアの窓ガラスの開閉が行えます。



●各窓ガラスの開閉

スイッチを押している間は開き、引いている間は閉じます。スイッチから手を離すと、その位置で停止します。

●運転席窓ガラスの自動開閉

- 全開するときには、スイッチを強く押し、手を離します。途中で止めたいときはスイッチを軽く引き上げます。
- 全閉するときにはスイッチを強く引き上げて手を離します。途中で止めたいときはスイッチを軽く押します。

助手席、後席スイッチ

スイッチ操作で窓ガラスの開閉ができません。エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押している間は開き、引いている間は閉じます。
- スイッチから手を離すと、その位置で停止します。
- ただしウィンドウロックスイッチがONになっているときは、スイッチを押しても作動しません。

👉 アドバイス

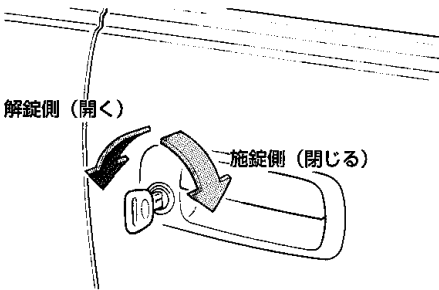
- 運転席スイッチと他のスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。
- 窓ガラスの全開、全閉後に同じ方向にスイッチを押し続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。

キーOFF後作動機能

運転席窓ガラスは、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあとでも約45秒間は開閉することができます。ただし、エンジンスイッチをACCまたはLOCKにしたあと約45秒間に運転席ドアを開けてから、一旦閉めると窓ガラスの開閉はできなくなります。

キーによる開閉のしかた (運転席窓ガラス)

運転席ドアにキーを差し込んでまわすことにより、運転席窓ガラスを開閉することができます。



運転席ドアにキーを差し込み約2秒間、解錠側（うしろ側）にまわし続けると窓ガラスが開き、施錠側（前側）にまわし続けると窓ガラスが閉じます。

●途中で止めたいときはキーを中立の位置にもどします。



アドバイス

窓ガラスの全開、全閉後に同じ方向にキーをまわし続けしないでください。パワーウィンドウの故障の原因になります。

挟み込み防止機構

運転席窓ガラスを閉じるときに、窓枠と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇を停止し、自動で開きはじめます。

⚠ 注意

窓ガラスを確実に閉じるため、閉じ切り直前の部分では挟み込みを感知していない領域があります。指などを挟まないように注意してください。



アドバイス

故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、運転席窓ガラスを自動で閉じることができないときは、スイッチを引き続けると閉じることができます。



知識

- 挟み込み防止機構は、次のときに作動します。
 - 窓ガラスを運転席スイッチにより自動で閉めているとき。
 - キーOFF後作動しているとき。
 - キーにより閉めているとき。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

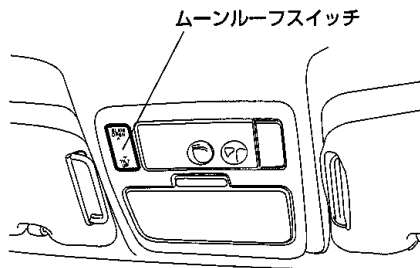
ウィンドウロックスイッチ

ウィンドウロックスイッチをONにすると運転席窓ガラス以外のパワーウィンドウは作動しません。お子さまを乗せるときなどにご使用ください。スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

ウィンドウロックスイッチ	運転席スイッチ	助手席、後席スイッチ
ON	運転席窓ガラスの開閉ができます。	開閉できません。
OFF	すべての窓ガラスの開閉ができます。	開閉できます。

ムーンルーフ★

エンジンスイッチがONのとき使用できません。



⚠ 警告

- ルーフを閉じるときは他の人の手や顔などをはさまないように注意してください。ルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外の物などに当たったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 開口部に腰かけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外の物に当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

スライド開閉

■開けるときは

スイッチのうしろ側（SLIDE OPEN側）を押します。

スイッチを押すとムーンルーフが自動で全開します。

●途中で止めるにはスイッチをもう一度押します。

室内への風の巻き込みを防ぐディフレッターが自動的に上がります。

■閉めるときは

1 スwitchの前側（TILT UP側）を押している間、ムーンルーフが閉まります。

全閉の手前でいったん停止します。

2 停止したら、スイッチから手を離し、もう一度スイッチを押します。

サンシェード

●手動で開閉できます。

●ムーンルーフを開けると連動して開きます。

チルトアップ、ダウン

ムーンルーフが閉じているとき、スイッチの前側（TILT UP側）を押している間チルトアップし、うしろ側（SLIDE OPEN側）を押している間チルトダウンします。



アドバイス


ムーンルーフを全開、全閉したあとにスイッチを押し続けしないでください。ムーンルーフの故障の原因になります。



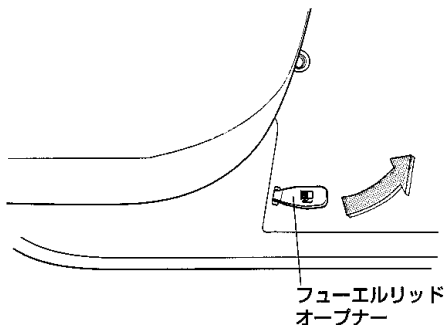
知識

- 車から離れるときや、洗車時には完全に閉じていることを確認しましょう。
- ルーフ上に水や雪がないことを確認してから開けましょう。水や雪がある状態で開けると、室内に水や雪がはいり、ぬれることがあります。

フューエルリッド(燃料補給口)

フューエルリッドオープナー  を引くと開きます。

燃料タンク容量は70ℓです。



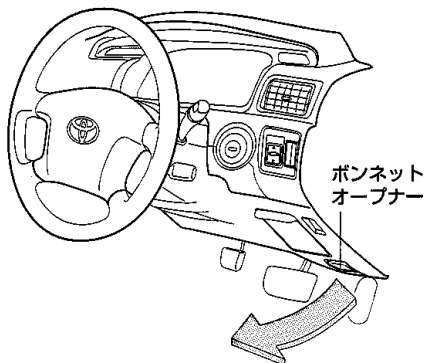
⚠ 警告

- 燃料補給時には次のことを必ずお守りください。燃料は引火しやすいため、守らないと火災になるおそれがあり危険です。
 - エンジンは必ず止めてください。
 - タバコを吸うなど火気を近づけないでください。
- 急激にフューエルキャップを開けないでください。燃料補給口部より吹き返しが発生し、重大な傷害を受けたり、火災になるおそれがあり危険です。
- フューエルキャップの取り扱いについては次のことも必ずお守りください。守らないと燃料漏れを起こし、火災になるおそれがあり危険です。
 - 燃料補給後はフューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
 - 車にあったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。

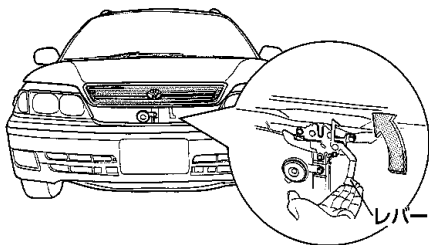
ボンネット

■開けるときは

- 1 運転席インストルメントパネル右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 ボンネットのすき間に手をいれ、レバーを押し上げ、ボンネットフックをはずして持ち上げます。



■閉めるときは

- 1 ボンネットを降ろします。
- 2 前端を押さえつけロックします。

⚠ 注意

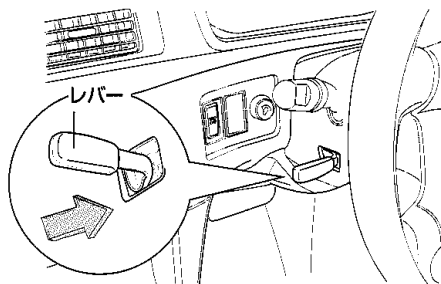
走行前にボンネットが確実にロックされていることを必ず確認してください。ロックせずに走行するとボンネットが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部の調整

ハンドル

チルトステアリング

レバーを手前に引いたまま、ハンドルを適切な位置にして、レバーを離せば固定されます。



⚠ 警告

- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

インナーミラー（防眩ミラー）

通常はミラー下側のレバーを前方に押し込んだ状態で使用します。

後続車のヘッドライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

⚠ 注意

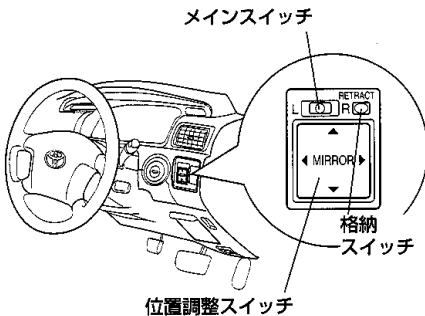
走行中はミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアミラー

■鏡面調整のしかた

エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

- 1 メインスイッチを右側または左側に動かします。
- 2 位置調整スイッチでミラーの角度を調整します。
- 3 調整したあとはメインスイッチを中立の位置にもどします。



⚠ 注意

- 走行中は、ミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。

📖 知識

ドアミラーはフェンダーミラーと比べ次の点で異なります。

- ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。
- ミラーに映る物の距離感覚が違います。(ドアミラーの方が物が近くに見えます。)

■ドアミラーの格納・復帰

ミラーを後方に倒すことができます。

エンジンスイッチがACCまたはONのとき使用できます。

格納スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

	スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		

- エンジンスイッチがLOCKのときは、手で操作することができます。
- 次の場合は、ミラーを手動で操作しても、ミラーはスイッチの状態になりません。
 - 手で操作したあとにACCまたはONにしたとき
 - ただし格納スイッチがOFFで、手で前方へ可倒したときは、エンジンスイッチがACCまたはONにしたあと格納スイッチをONにすることにより正常作動に戻ります。

⚠ 注意

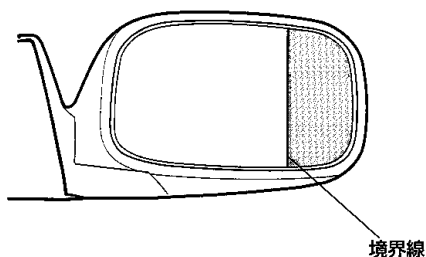
ミラーが動いているときは手を触れたりしないでください。手をはさんでけがをしたり、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

ワイドビュードアミラー★

運転席側ドアミラー

ワイドビュードアミラーとは、境界線より内側と外側のミラーの曲率を変えたドアミラーです。

境界線より内側は通常ドアミラーと同じ範囲の視界ですが、境界線より外側は通常ドアミラーよりもより広い範囲まで視界が確保できるようになっています。



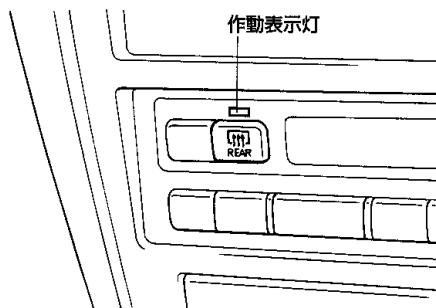
知識

ミラー境界線の内側と外側では、映る物の距離感覚が異なります。

- 境界線より外側に映る物は、内側に映る物と比べて、実際よりも遠くにあるように見えます。(通常ドアミラーと比べて、遠くにあるように見えます。)

ミラーヒーター★

リヤウインドウデフォグスイッチを押すと、リヤウインドウと同時にドアミラーも暖めて曇りを取ります。



- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
- 作動表示灯が点灯します。

知識

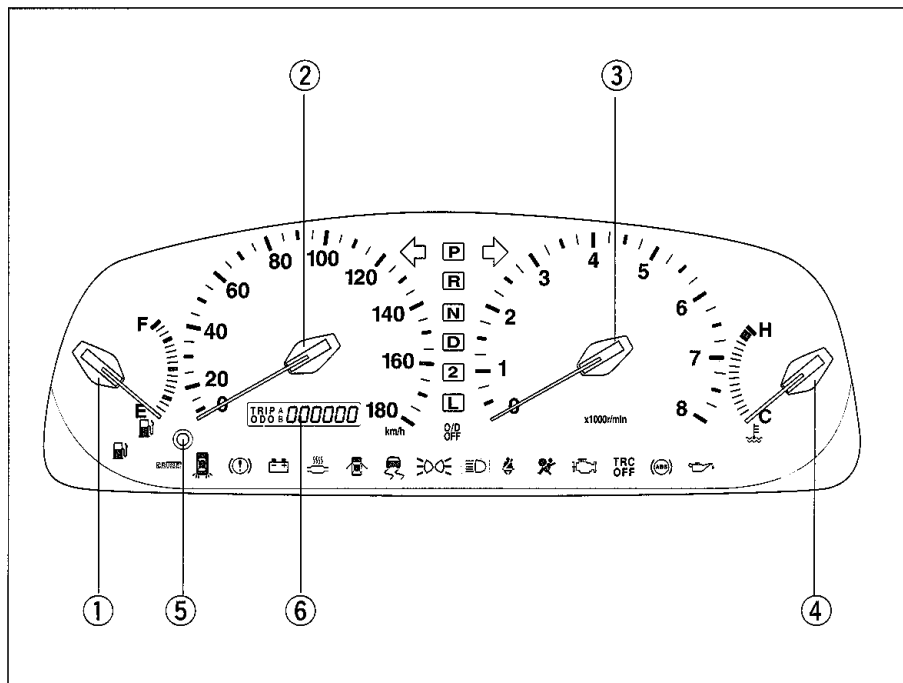
連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

MEMO



メーター、表示灯、警告灯の見方

メーター



- ①燃料計
- ②スピードメーター
- ③タコメーター
- ④水温計
- ⑤トリップメーターリセットボタン
オドメーター・トリップメーター切り替えボタン
- ⑥オドメーター、トリップメーター

ここではすべての警告灯・表示灯を掲載していますので、グレード・エンジン等により設定の有無が異なります。

水温計

エンジンスイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。



アドバイス

指針がHのレッドゾーンにはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、176ページの「オーバーヒートしたときは」にしたがって処置をしてください。

燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく燃料残量を示します。

燃料補給後、エンジンスイッチをONにして指示が安定するまで少し時間がかかります。

燃料タンク容量は70ℓです。

スピードメーター

車両の走行速度を示します。

タコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。



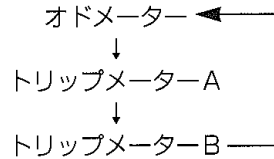
アドバイス

指針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を越えている範囲）にはいらないように運転してください。指針がレッドゾーンにはいる運転を続けるとエンジンなどに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。

オドメーター、トリップメーター

■オドメーター・トリップメーター切り替えボタン

- ボタンを押すごとに次のように表示が切り替わります。



■オドメーター

走行した総距離をkmの単位で示します。

■トリップメーター

2種類の区間距離（トリップA、トリップB）を、kmの単位で示します。

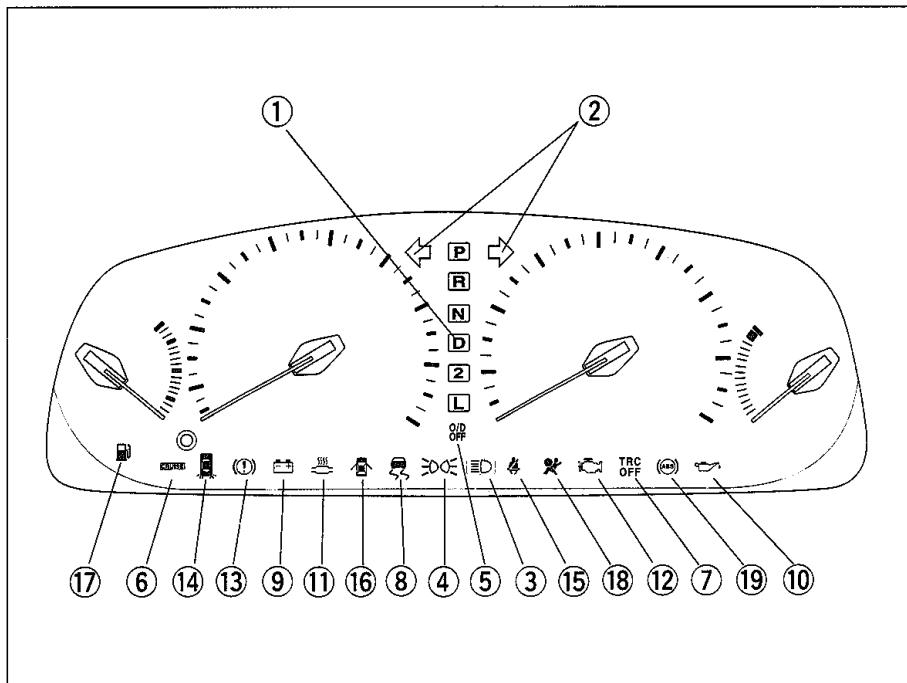
- トリップメーターを0に戻すときはオドメーター・トリップメーター切り替えボタンを押し続けます。



知識

バッテリーとの接続が断られたときは、トリップメーターは0になります。

表示灯、警告灯



- | | |
|-----------------|------------------------------|
| ①シフトポジション表示灯 | ⑨充電警告灯 |
| ②方向指示表示灯 | ⑩油圧警告灯 |
| ③ヘッドランプ上向き表示灯 | ⑪排気温警告灯 |
| ④車幅灯表示灯 | ⑫エンジン警告灯 |
| ⑤オーバードライブOFF表示灯 | ⑬ブレーキ警告灯 |
| ⑥クルーズコントロール表示灯 | ⑭断線警告灯 |
| ⑦TRC OFF表示灯 | ⑮シートベルト警告灯 |
| ⑧スリップ表示灯 | ⑯半ドア警告灯 |
| | ⑰燃料残量警告灯 |
| | ⑱SRSエアバッグ警告灯／
プリテンショナー警告灯 |
| | ⑲ABS警告灯 |

ここではすべての警告灯・表示灯を掲載していますので、グレード・エンジン等により設定の有無が異なります。



方向指示表示灯

方向指示灯、非常点滅灯を作動させると点滅します。



アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。



ヘッドランプ上向き表示灯

ヘッドランプを上向きにすると点灯します。



車幅灯表示灯

車幅灯、尾灯を点灯させると表示灯が点灯します。

O/D
OFFオーバードライブ
OFF表示灯

オーバードライブスイッチをOFFにすると点灯します。
(96ページ参照)



アドバイス

走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションの電子制御システムの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

CRUISE

クルーズコントロール
表示灯

クルーズコントロール付き車

クルーズコントロールをセットすると点灯します。(98ページ参照)

TRC
OFF

TRC OFF表示灯

トラクションコントロール付き車

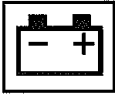
エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
TRC OFFスイッチを押してトラクションコントロールを作動停止状態にすると点灯します。(54ページ参照)



スリップ表示灯

トラクションコントロール付き車

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
エンジン回転中にトラクションコントロールシステムが作動すると点滅します。(54ページ参照)



充電警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。

エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、Vベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。



油圧警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。

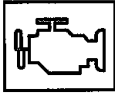
オイル量の点検はオイルレベルゲージにより行ってください。

(点検方法は「メンテナンスノート」を参照してください。)



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めて、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、トヨタ販売店へご連絡ください。



エンジン警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。

エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。



排気温警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけて消灯すれば正常です。

エンジン回転中、触媒装置の温度が異常に高くなると点灯します。



ブレーキ警告灯

エンジンスイッチがONで次のような場合に点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足したとき

警告

枯れ草などの燃えやすいものの上に車を止めないでください。火災につながるおそれがあります。



アドバイス

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。

約10分間エンジンを止めたあと、エンジンを始動して消灯していれば走行できます。

消灯しないときまたは再び点灯するときは、そのまま使用せずトヨタ販売店へご連絡ください。

注意

- エンジン回転中にパーキングブレーキを解除しても、ブレーキ液を補給しても点灯したままのときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。
- この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏んでください。

ブレーキパッドウェアインジケーター

ブレーキ（ブレーキパッド）が摩耗したとき、キーキー音により運転者に知らせます。走行中、異音（キーキー音）が発生したときはただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。



断線警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

エンジン回転中、尾灯または制動灯の電球が切れていることを感知して点灯します。

- 尾灯はライトスイッチをONにしたとき
- 制動灯はブレーキペダルを踏んだとき



半ドア警告灯

いずれかのドアが確実に閉まっていないときに点灯します。

⚠ 注意

警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが確実に閉まっていないため、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチがONのとき運転席シートベルトを着用していないと点灯します。



燃料残量警告灯

エンジンスイッチがONのとき残量が約10ℓ以下になると点灯します。

点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。



SRSエアバッグ警告灯

プリテンショナー警告灯

エンジンスイッチをONまたはACCにすると点灯し、数秒後に消灯します。その後、SRSエアバッグシステム、またはプリテンショナー付シートベルトに異常があると点灯・点滅します。

⚠ 注意

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどにSRSエアバッグ、またはプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをすおそれがあります。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき。または点灯・点滅したままのとき
- 走行中に点灯・点滅したとき



ABS警告灯

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。

その後、ABSシステムに異常があると点灯します。

ABS警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが通常のブレーキとしての性能は確保しています。



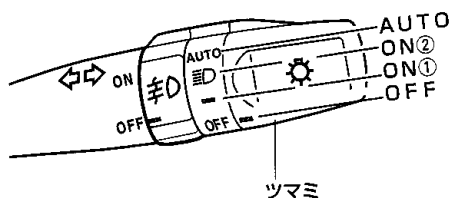
アドバイス

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
 - 走行中に点灯したとき
- なお、走行中に点灯しても、その後消灯し再度点灯しなければ正常です。

視界の確保

ライトスイッチ



コンライト（自動点灯・消灯装置）

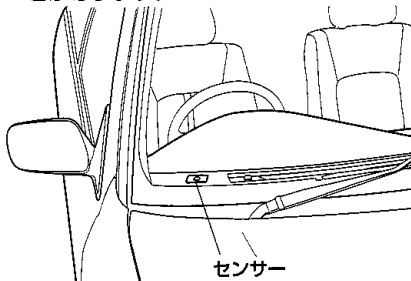
■自動で使うときは

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- ツマミをAUTOの位置にまわすと、外の明るさに応じてヘッドランプ、車幅灯などが自動で点灯・消灯します。
- エンジンを止め、運転席ドアを開くと自動的に消灯します。エンジンスイッチをONにすると再び点灯します。

知識

- ランプの点灯・消灯が早いまたは遅いと感じたときは、感度の調整ができますのでトヨタ販売店へご相談ください。
- コンライトのセンサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけると、センサーが正常に作動しなくなることがあります。



■手動で使うときは

エンジンスイッチに関係なく使用できません。

ツマミをまわすとON①、ON②の位置で、下表○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	①	②
ヘッドランプ	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○
メーター照明	○	○

■ヘッドランプを上向きに切り替えるには

ライトスイッチがON②のとき、またはAUTOの位置でヘッドランプが点灯しているときに、レバーを前方に押します。

- ヘッドランプが上向きのときはメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

■パッシング（追い越し合図）するには

ライトスイッチがOFFでもレバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きとなります。

- メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

知識

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯すると、バッテリーあがりの原因となります。

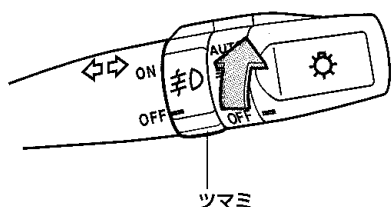
ライト消し忘れ警告ブザー

ライトスイッチがONのまま、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席ドアを開くとランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

フロントフォグランプ スイッチ

ライトスイッチがON①、ON②のとき、およびAUTOの位置で車幅灯またはヘッドランプが点灯しているときに使用できます。

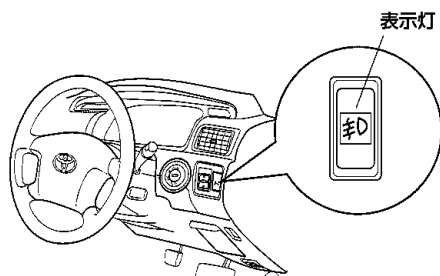
ツマミをONの位置にまわすと点灯し、OFFの位置にまわすと消灯します。



リヤフォグランプ スイッチ★

フロントフォグランプまたはヘッドランプが点灯しているときに使用できます。スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

●リヤフォグランプが点灯しているときは、スイッチの表示灯が点灯します。



知識

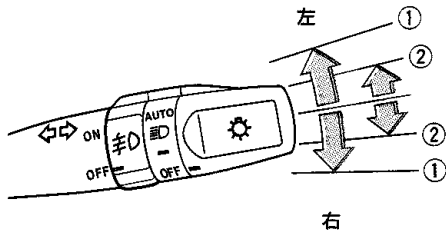
- ライトスイッチのツマミがAUTOの位置でリヤフォグランプを点灯させた場合、エンジンを止め、運転席ドアを開くと、リヤフォグランプも消灯します。
- リヤフォグランプが消灯した後に、再度点灯させるためには、リヤフォグランプスイッチの操作が必要です。
- 視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

無断複製禁止

方向指示レバー

エンジンスイッチがONのとき使用できません。



①レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯が点滅します。

●メーターにある方向指示表示灯も点滅します。

レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

②車線変更などのときには、レバーを軽く上または下へ押さえている間、それぞれの方向指示灯および方向指示表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。



アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。

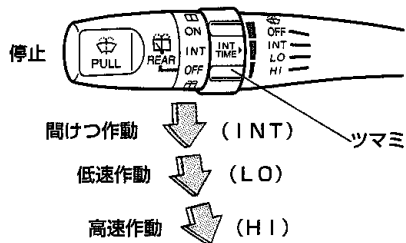
ワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチがONのとき使用できません。

フロント

■ワイパーの使い方

レバーを操作すると、下のように入動します。



間けつ作動のときつまみをまわすと、間けつ時間を約3~12秒の間で調整できます。

■ウォッシャー液の噴射方法

レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが数回作動します。

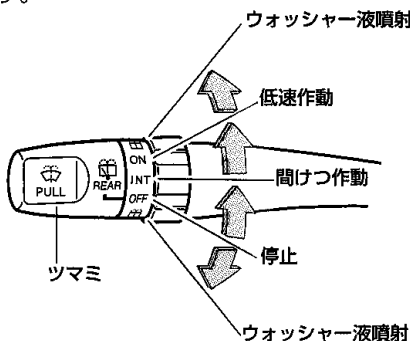
⚠ 注意

寒冷時は、ウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。

リヤ


■ワイパーの使い方

ツマミを図のようにまわすと作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

- 低速作動中にウォッシャー液を噴射させるときはONの位置から上の \square 側にまわします。
- ツマミをOFFの位置から下の \square 側にまわすとウォッシャー液が噴射されます。


アドバイス

- ウインドウガラスが凍結しているときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張りついていないことを確認してください。ガラスに張りついたまま作動させるとワイパーゴムを損傷するおそれがあります。
- 必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。ガラスが乾いているときにワイパーを作動させるとガラスを傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチをACCまたはLOCKの位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。

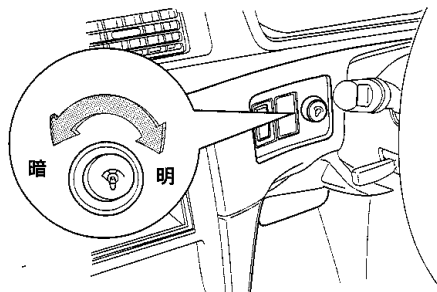

知識

ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。10分ほどすると、ブレーカーが復帰して、通常どおり使用できるようになります。

メーター照度調整スイッチ

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

ダイヤルを右にまわすとメーター照明が明るくなり、左にまわすと暗くなります。



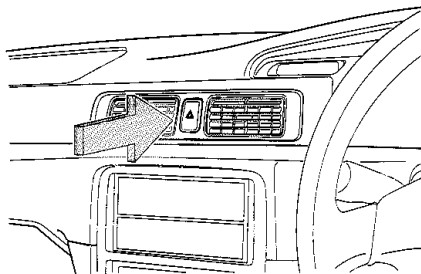
知識

右いっぱいにもわすとライトスイッチをONにしたとき減光されません。

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。

- スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。
- メーター内にある方向指示表示灯も点滅します。
もう一度押すと消灯します。

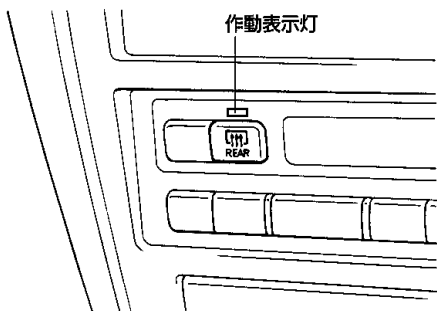


リヤウインドゥデフォグガー (曇り取り) スイッチ

リヤウインドゥガラスを熱線で暖めて曇りを取ります。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
 - 作動表示灯が点灯します。



知識

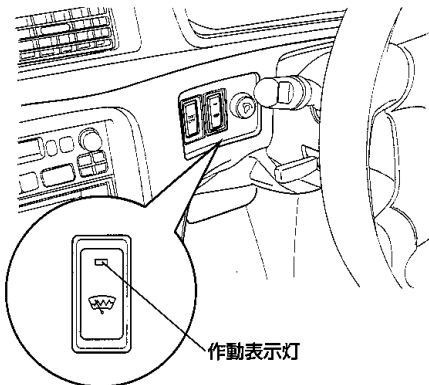
- ミラーヒーター装着車はリヤウインドゥデフォグガースイッチを押すと、リヤウインドゥと同時にミラーヒーターも作動し、ドアミラーを暖めて曇りを取ります。
- 連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

熱線入りフロントウインドゥ シールドガラススイッチ★

フロントウインドゥガラス下部の表面を暖めてガラスとワイパーブレードの凍結を防止します。

エンジンスイッチがONのとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
 - 作動表示灯が点灯します。



知識

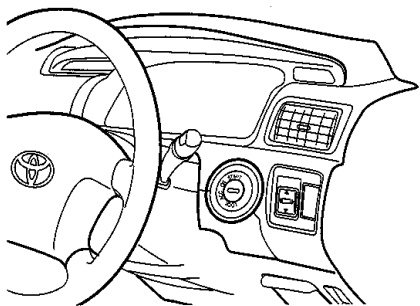
連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

無断複製禁止

運転装置

エンジンスイッチ



各位置の働き

LOCK
(ロック)

キーを抜き差しできる位置。
キーを抜くとハンドルが
ロックされます。

ACC

(アクセラリー)

エンジン停止時、次のもの
が使用できる位置。
オーディオ、シガレットライ
ター、電動リモコンミラー

ON
(オン)

エンジン回転中の位置。

START
(スタート)

エンジンを始動する位置。

知識

エンジン停止時はエンジンスイッチをON
またはACCのまま長時間放置すると、
バッテリーあがりの原因となります。

LOCKからACCにまわすときにキー
がまわりにくいときは、ハンドルを軽く
左右にまわしながらキーをまわします。

■ACCからLOCKにまわすとき
チェンジレバーをPの位置にしてキーを
押しながらかわします。

エンジンのかけ方

エンジンをかけるまえに

- 1] パーキングブレーキをかけているこ
とを確認します。
- 2] チェンジレバーがPの位置にあるこ
とを確認します。
(Nでも始動できますが、安全のため
Pで行ってください。)

エンジンのかけ方

- 1] ブレーキペダルをしっかりと踏みま
す。
- 2] アクセルペダルは踏まずにエンジ
ンスイッチをスタート位置にまわしエ
ンジンを始動します。

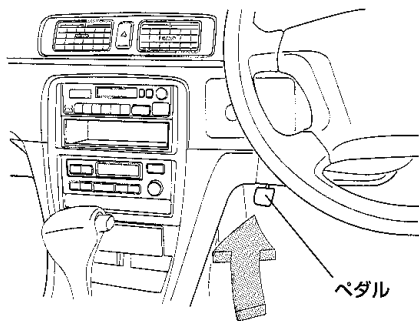
パーキングブレーキ

- パーキングブレーキをかけるときは右足でブレーキペダルを踏みながら左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。
- もどすときは右足でブレーキペダルを踏みながら左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏み、ゆっくりと離します。



知識


パーキングブレーキをかけたあとにパーキングブレーキをかけなおしたい場合は、一度もどしてから、踏み込み直してください。



⚠ 注意

パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキ部品が早く摩耗したりブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

ホーン

ハンドルの  マーク周辺部を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

オートマチックトランスミッション

各位置の働き

P
(パーキング)

駐車およびエンジン始動
車輪が固定されます。駐車
のときは必ず**P**にしてくだ
さい。
(**P**でのみエンジンスイッチか
らキーが抜けます。)

R
(リバース)

後退
ギヤが後退に固定されます。
ブザーが鳴り**R**にあること
を運転者に知らせます。

N
(ニュートラル)

動力が伝わらない状態
Nでもエンジンは始動でき
ますが、安全のため**P**で行っ
てください。

D
(ドライブ)

通常走行
スピードに応じてギヤが自動
的にかかります。
●O/DスイッチがONのとき
は、1速から4速まで
●O/DスイッチがOFFのと
きは、1速から3速まで

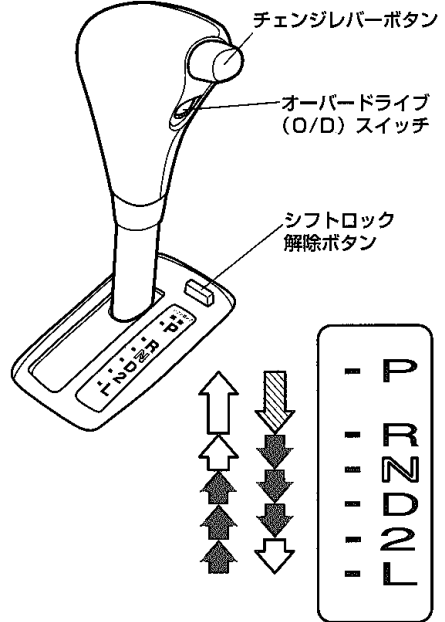
2
(セカンド)

下り坂走行
エンジンブレーキが必要な
場合に使います。

L
(ロー)

急な下り坂
強力なエンジンブレーキが
必要な場合に使います。

チェンジレバーの動かし方



➡ チェンジレバーボタンを押さず
にそのまま操作します。

➡ チェンジレバーボタンを押して
操作します。

➡ ブレーキペダルを踏んだまま、
チェンジレバーボタンを押して
操作します。

警告

⇒の操作はレバーボタンを押さずに操作してください。いつもレバーボタンを押して操作していると意に反して**P**、**R**または**L**にいらてしまい、思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

知識

シフトロックシステム

オートマチック車でのチェンジレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- ブレーキペダルを踏んだ状態でなければ**P**からレバー操作できません。
 - エンジンスイッチが、ACCまたはLOCKのときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。
 - チェンジレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できません。先にブレーキペダルを踏み操作してください。
- P**以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。
 - エンジンスイッチからキーを抜くときは、チェンジレバーを**P**にいらてください。
(**P**以外ではキーをACCからLOCKにまわせません。)
- R**にいらるとブザーが鳴ります。
 - ブザーが鳴り、**R**にあることを運転者に知らせます。
 - 車外の人には音は聞こえませんが注意ください。
(車外の人に対する警告音ではありません。)

アドバイス

- 万一、**P**からレバー操作できないときは
- エンジンスイッチをACCにしてシフトロック解除ボタンを押しながらレバーを操作してください。
 - シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車の特性

■クリーブ現象

エンジンがかかっているとき、チェンジレバーがP・N以外の位置にあると、動力がつながった状態になりアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き出す現象をクリーブ現象といいます。



知識

停車中は、平坦路であっても車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

- エンジン始動直後やエアコン作動時など、自動的にエンジンの回転が上がリ（アイドルアップ）、クリーブ現象が強くなる場合がありますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリーブ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節するとスムーズに行えます。

■キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。これをキックダウンといいます。



知識

追い越し時の急加速や高速道路での合流が楽に行えます。

- すべりやすい路面やカーブ走行中では、急激なアクセルペダルの操作は避けてください。

エンジンをかけるまえに

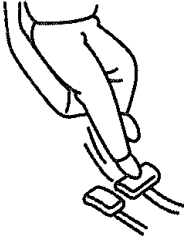
- 1 正しい運転姿勢をとります。
ペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シートの位置を調整してください。
(28ページ参照)
- 2 アクセルペダルの位置を確認します。
- 3 ブレーキペダルの位置を右足で確認します。
踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認し、足におぼえさせておくことが重要です。

エンジン始動

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 チェンジレバーがPの位置にあることを確認します。
Nの位置でも始動できますが、安全のため車輪が固定されるPの位置で行ってください。
- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 エンジンを始動します。

発進

- ① ブレーキペダルを右足でしっかり踏み、チェンジレバーを操作します。



ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないとクリーブ現象により、車が動くことがあります。

とくにエンジン始動直後やエアコン作動時などはクリーブ現象が強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

⚠ 警告

チェンジレバー操作は、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながり、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ② パーキングブレーキをもどします。
- ③ ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。
- マニュアル車では、発進時のスピード調節を半クラッチ操作と併用して行いますが、オートマチック車では、アクセル操作のみで行いますのでアクセル操作は慎重に行ってください。

■急な上り坂の発進

- ① チェンジレバーの位置を目で確認します。
- ② アクセルペダルをゆっくり踏みます。
- ③ 車が動き出す感触を確認してから、パーキングブレーキをもどし発進します。

走行

■通常走行

チェンジレバーを①のまま走行します。アクセルとブレーキの操作だけで、加速・減速します。

■急加速

アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし、急加速します。

■上り坂走行

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がる場合があります。このようなときは、あらかじめ②にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

■下り坂走行

①のままスピードが出すぎるときは、坂道に応じて②または④にいれエンジンブレーキを併用します。

オーバードライブスイッチをOFFにすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

⚠注意

走行中にはチェンジレバーをNにしないでください。Nにすると、エンジンブレーキがまったく効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

チェンジレバーをNにしたままで走行するとトランスミッションの故障の原因となるおそれがあります。



知識

クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、O/DスイッチをOFFにしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときの操作方法は99ページをご覧ください。

■各シフト位置での速度限界

エンジンを過回転させないために、各シフト位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。

(単位：km/h)

エンジン型式 シフト位置	5S-FE	2MZ-FE	1MZ-FE
L	50	55	55
2	95	100	100

停車

1 ①のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

エアコンは温度変化により断続的に作動します。作動中は自動的にアイドルアップし、クリーブ現象が強くなりますので、車が動き出さないようにとくに注意してください。

2 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。

急な上り坂の停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。

ブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。

3 停車時間が長くなりそうなときは、チェンジレバーをPまたはNにいれます。

⚠警告

停車中の空ふかしはしないでください。

P/N以外にはっていると車が急発進し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

停車後再発進するときにはチェンジレバーが①の位置にあることをしっかりと確認してから、発進してください。



アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で①のままアクセルをふかしながら止まらないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。

駐 車

- 1 車を完全に止めます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキを確実にかけます。
- 3 チェンジレバーをPにいます。
Pでは車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には、必ずチェンジレバーがPの位置にあることを確認してください。
- 4 エンジンを止めます。
車を離れるときは必ずエンジンを停止してください。

⚠ 注意

エンジンをかけたままにしておくと、万一、チェンジレバーがP以外にはいついた場合、クリーブ現象で車がひとりで動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき、急発進するおそれがあります。



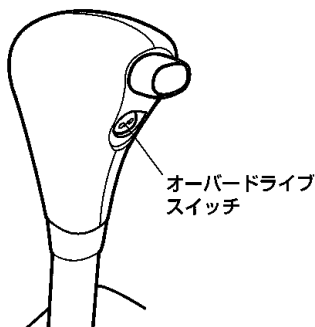
アドバイス

車輪が完全に止まらないうちに、チェンジレバーをPに入れるのはやめてください。無理な力がかかり、トランスミッションをいためることがあります。

オーバードライブ (O/D) スイッチ

スイッチをONにしておくと①の位置で走行中、4速ギヤ（オーバードライブギヤ）にはいり、燃費性能と静粛性を高めます。

- スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。
- OFFのときオーバードライブOFF表示灯（77ページ参照）が点灯します。



■スイッチがONのとき

通常走行に適します。

- ①の位置で走行中、4速ギヤにまではいり、燃費性能と静粛性を高めます。

■スイッチがOFFのとき

坂道走行に適します。

- 下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。
- 上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。



アドバイス

走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）オーバードライブOFF表示灯が点滅したときはオートマチックトランスミッションの電子制御システムの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。



知識

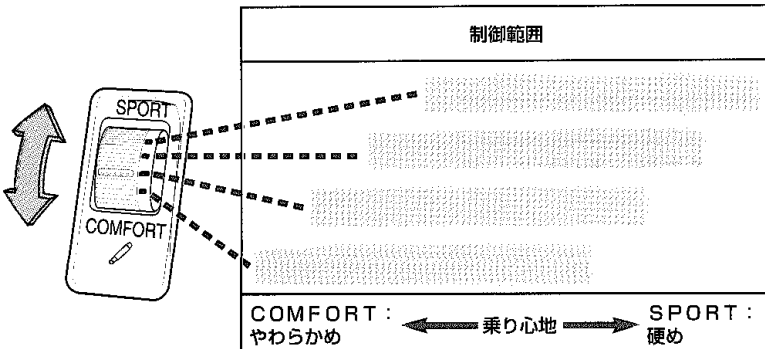
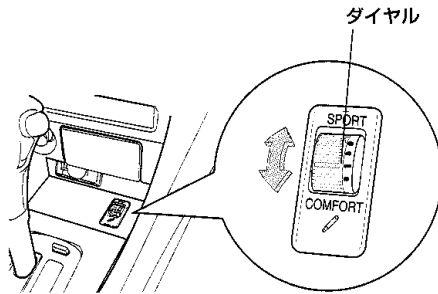
クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、O/DスイッチをOFFにしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときの操作方法は99ページをご覧ください。

スカイブックTEMS ★

路面の凹凸やハンドル操作による車両の挙動変化をショックアブソーバーが抑制・吸収することにより、最適な減衰力制御を行い、乗り心地と操縦安定性を両立させる装置です。

■サスペンションの硬さの切り替え方

ダイヤルをまわすことにより乗り心地をお好みに応じて4つのモードから選択できます。



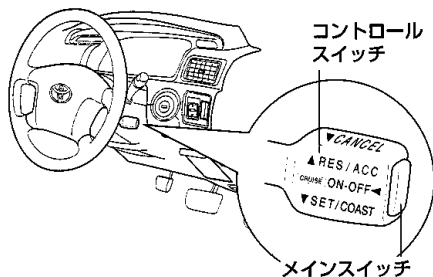
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

無断複製禁止

クルーズコントロール★

チェンジレバーが①のとき、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度（約40 km/h～100km/h）で走行できます。

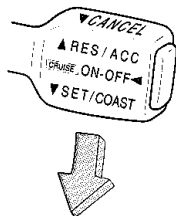
■クルーズコントロールスイッチ



■クルーズコントロール表示灯

CRUISE

- ③コントロールスイッチを下げ、手を離します。



以上の操作で定速走行をはじめます。

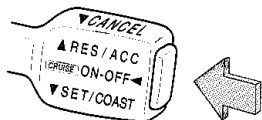
👉 アドバイス

定速走行中にクルーズコントロール表示灯が点滅したときは、メインスイッチを一度OFFにしてから再度セットしてください。

以上の操作をしても、セットできないまたはセットしてもすぐ解除される場合はシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

セットのしかた

- ①メインスイッチを押してONにします。
表示灯が点灯します。



- ②希望速度まで加速または減速します。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■一時的に加速、減速したいときは

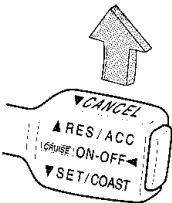
●加速したいとき

アクセルペダルを踏みます。
アクセルペダルを離せば、もとの定速走行状態にもどります。

●減速したいとき

ブレーキペダルを踏みます。
ブレーキペダルを踏むと、定速走行が解除されます。

もとの定速走行状態にもどりたいときは、コントロールスイッチを上げ、手を離します。

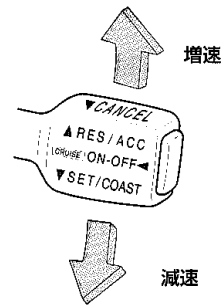


設定速度のかえ方

セットのしかたの[2]、[3]の手順でかえる方法と、次のコントロールスイッチでかえる方法があります。

[1] コントロールスイッチを操作します。

- 上げ続けると増速します。
- 下げ続けると減速します。

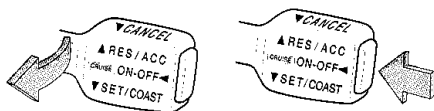


[2] 希望速度になったら、手を離します。

- コントロールスイッチを上または下に軽く操作して手を離せば、設定速度の微調整 (約1.5km) ができます。

解除のしかた

コントロールスイッチを手前に引くか、メインスイッチを押してOFFにします。



- 次の場合は、自動的に定速走行が解除されます。
 - ブレーキペダルを踏んだとき
 - セットした速度より車速が約16km/h以上低下したとき
 - 車速が約40km/h以下になったとき
- コントロールスイッチによる定速走行状態の解除およびブレーキペダルを踏んで解除した場合は、コントロールスイッチを上げ手を離すもとの定速走行状態にもどります。ただし、車速が約40km/h以下になると解除する前の定速走行状態にはもどりません。

知識

クルーズコントロールを使用して定速走行しているときは、O/DスイッチをOFFにしてもクルーズコントロールが解除されないため、エンジンブレーキは効きません。減速が必要なときは、クルーズコントロールスイッチで減速の操作をするか、または、ブレーキペダルを踏んでください。

注意

- クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをOFFにしてください。誤ってクルーズコントロールを作動させてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次のような状況のときはクルーズコントロールを使用しないでください。使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 交通量の多い道や急カーブのある道路の状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
 - 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - 急な下り坂
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を越えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。